

なきごえ



1966

4

大 阪 市
天 王 寺 動 物 園

「ひくいな」

鶴目 くいな科

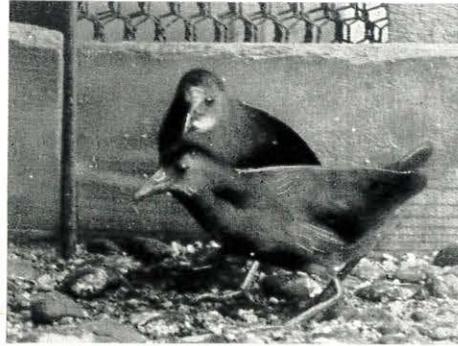
キョッ、キョッ、キョッ、と忙しく門の戸をたたくような高い声で、ひくいなは鳴きます。

この声が静かな田園を渡って聞えてくるところに住んでいる人々に、人の訪れに似た感じをいだかせますので、古くから歌人によってこの鳥はよく歌に詠まれています。

歌に詠まれるわりには色彩はそれ程目立ったものでなく、くすんだうぐいす色の体に顔から腹部にかけて赤栗色をしているのでひくいなと名付けられたのでしょう。

全体としては、ほっそりとしたきゃしゃな線をしています。翼長110cmですから足の長いうづらという感じです。

又水辺の鳥ですから泥地に足がめり込まぬように長いゆびをしていて、水の深いところでは少し泳ぎます。



ひくいな

広く世界に分布していて、その仲間は225種類にも及びます。我が国にても、その棲息地は全土にわたり、北海道・本州・四国・九州の川や沼地、水田の雑草の茂みに夫婦で住みつきます。人が近づくとくさむらの中に潜行して、追われても用心深くてなかなか飛び立ちません。

難波と呼ばれた頃の大坂は葦が多く生えていたからひくいなにとっては絶好のすみ家であったのに相違ありません。

今でも大阪市近郊はもちろん、市内地区の住吉・西淀川・東淀川などの地区でつかまって毎年寄贈を受けます。

特に昨年9月に南区の心斎橋の重松さん宅に飛び

こんだといって寄贈されたのはちよっと驚きました。

ひくいなには、渡りの習性がある夏季に多く飛来するので大方この移動時期に起きた事故ではないかと思われます。ネオンに映えた道頓堀川を絶好の憩いの場所と思って、降りたところがそこには「はなやかな、でいりの春のいろは茶屋」(そうあん)と詠まれた昔日の面影は全くなく、メタンガスと汚臭の攻撃にあってとまどったことでしょう。このような都心部によくも飛んできたものだと思うとちよっといじらしさを感じます。鶴目に属しているの、草の実のような穀類と河川の苔、泥中の魚貝類、小昆虫などを食べているのですが、動物園では粟、稗を与えています。

ときどき水中にくちばしを突っ込んで何やら小さいものをひらって食べています。今動物園では3羽いて、3月号のなきごえで紹介したあかしようびんと同じ水禽舎で、同属のぼんや、よしごいなどと元気に同居しておりますが、沼地がないのが少しかわいそうです。

やはり野外でくさむらの中に潜行する習性を現わして、しゅろの木の下やしゅろの毛がふさふさしている根本に好んでたたずみます。

5~8月頃に5~9ヶ産卵するのですが雑居者が多いためかまだ巣造りや産卵のようすは見せてくれません。(松岡 恵爾)

なきごえ 4月号 もくじ

動物の紹介 ひくいな	2
飼い方シリーズ	3
動物園グラフ	4. 5
ペットを訪ねて	6
動物園ニュース	7

あひるとがちょうの飼いかた

最近、小学校や幼稚園の教材園であひるやがちょうを飼うところが増えてきました。

そこで、今回はあひる、がちょうの飼いかたの要点を簡単に紹介しましょう。あひるもがちょうも丈夫な鳥ですから飼育は比較的容易です。

がちょうとあひるは同じなから一緒に飼ってもよろしい。まず飼育場所や設備ですが、南向きで陽あたりのよいところに9m²くらいの広さに柵をします。柵は60~70cmの高さとし、この柵のすみに4m²程の金網張りの小屋を建て、夜間にこの中に追い込んで野犬や盗難を防ぐようにします。

収容数はあひるの場合4m²あたり5~6羽。がちょうで3~4羽にします。小屋の床は一段高くし、コンクリートにして清潔を保つようにし、乾いたわらを広く敷いてやります。

運動場には落葉樹を適当に植え込んで日陰をつくるようにします。

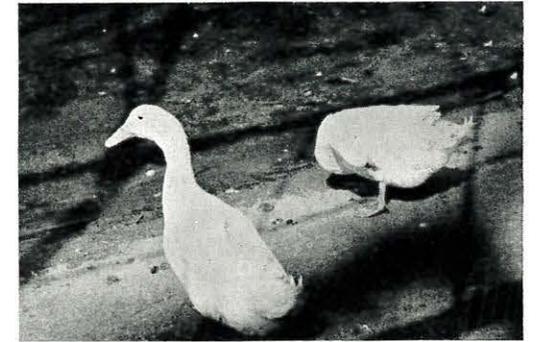
あひるやがちょうは水浴を好み、えさを食べたあとはくちばしを洗う習性があるので小川とプールをつくってやり常に清潔な水を満してやって下さい。

つぎに餌ですが、にわとりと同様に成鶏用完全配合飼料を与えますと手軽ですが、にわとりより大食ですから「ぬか」やふすまなどの安いものに食物の残りものを加えて与えてもよろしい。

青菜類も特に好みますので、きざみこんで与して下さい。

与える餌の量はあひるで1日1羽あたり150~200g。がちょうは300~500gを標準とします。

鉱物質としては貝類を与えます。餌は少量の水



あひる

で少し固めにねってやると食べやすく無駄がありません。

餌箱は底の浅い平たいものとし、水辺に置いてやるとよろしい。食欲のないときはニラやネギの類を与えるとよいでしょう。

運動場の一部に小石粒をたくさんまいておいてやります。がちょうやあひるはこれを摂取して消化のたすけをします。

舎内は糞や水でべとべとと汚れやすいので清掃に努め常に乾燥するようにして下さい。

(樽本 勲)

表紙の写真説明

春風と共に盛んに丹頂づるがダンスをやるようになりました。

(昭和24年3月3日入園)

動物園グラフ

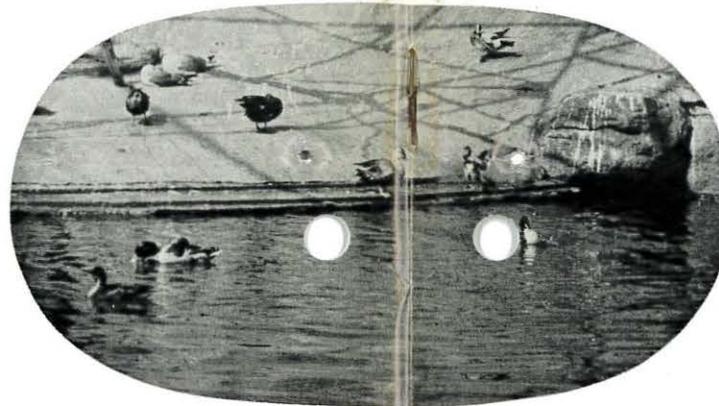


アメリカバク

春風と共にバクの鼻も夢を追うように長く伸び水もぬるみ、水鳥達も羽の手入れに一生懸命です。その姿態を集めてみました。



木のぼりカンガルー



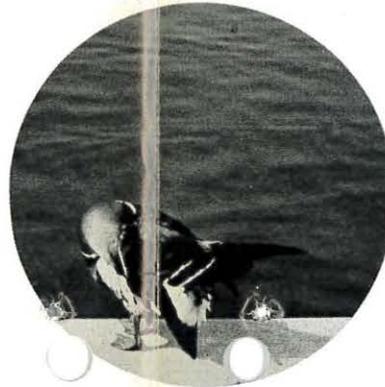
おなががも



こぶはくちょう



まがも



あおがん



がちょう



インドがん

3月 動物園日記

- 1 はりねずみ2頭ときぼりカンガルーのおすが入園したことを新聞テレビを通じて市民の皆さんに発表しました。
- 2 冬の間、暖房室にいたくもざるやみどりざるは暖かくなったのでさるのアパートにもどしてやりました。
- 4 くるさいのおすが下痢便をして食欲がなくなったので薬を与えています。
- 5 結核予防のため南園の日本鹿18頭にツベルクリン注射を実施しました。
- 7 南園のキジ舎のさんけい、からやまどりが産卵をはじめました。
- 8 にほんしかのツベルクリンの判定を行いましたがい全部陰性でした。
- 11 ももいろペリカンのめすが神経障害を起して死亡しました。日本庭園の池の大そうじをはじめました。加療中のとびかもしかがお腹にガスがたまって苦しみだしたので処置

- 12 きりんのリリーちゃんの下あごの腫脹をくりかえし、さらに鼻から膿や血液の混じった鼻汁を出してしんどそうにしています。
- 13 カラカラたかが急性腸炎のため死亡しました。
- 15 キリン(リリーちゃん)の左上あごに硬い腫脹が現れてきました。永らく暖房室に入れて加療中でしたエミューのめすが退院し、皆さんに元気な姿をみせました。頭をつよく打って重傷をおっていたとびかもしかが1ヶ月の治療のかいなく死亡しました。脳脊髄内に出血したのが死因でした。
- 16 新類入猿舎に動物のひっこしがはじまりこの日はオランウータンが1番のりでお越し入れしました。エミューのおすが鉄さくに頸をひっかけて大けがをしましたので縫ってやりました。
- 17 インドひょうのめすが右前肢をひどくいためてしまいましたので治療しています。
- 18 たんちょうのめすが元気になったので投薬を中止しました。

- 19 近畿ブロックの動物園水族館の園館長会議が天王寺動物園で行われました。
- 20 はりねずみが4頭生まれました。くるざるのおすがとなりのさると大げんかして指にけがをしましたので縫ってやりました。
- 21 家畜動物総合慰霊祭が慰霊碑前で行われ過去1年間動物園で死んだ動物たちと、府下で人間のために命をささげた動物たちの霊をとむらいました。動物を代表してチンパンジーのキャンディちゃんやライオンのこどもが焼香しました。
- 22 換毛の悪いリカオンやコヨーテに栄養剤を与えてやりました。
- 24 キリンのリリーちゃんはあごの腫れがひどくなり食べ物がかめなくなり呼吸も困難になってしまいました。そしてついに朝はやく死んでしまいました。
- 25 しろたぬきが老衰のため後肢が麻痺を起して弱ってきました。
- 26 ビューマ、ひょう、くるひょうに駆虫薬を投与しました。昨年春入園したバーバリシープに赤ちゃんが生まれました。

- 27 ヨーロッパこうのとりが今年も産卵をはじめました。マンドリルのめすが左前肢に大けがをしてしまいましたので縫合してやりました。
- 28 天候に恵まれて入園者も今年最高の3万名をこえました。きりんのおすが前日に過食しておなか痛を起してしまいましたので薬を与えたところ29日にはすっかり元気になりました。
- 29 くるざるが再び右腕に大けがをしてしまいました。15針も縫うほどでしたが元気です。はりねずみ4頭生まれたことを新聞で市民の皆さんに発表しました。
- 30 くるかもしかのめすが夜の間に寝室で大あばれしてあしをいためてしまいました。
- 31 ヨーロッパおおかみのめす同志がけんかをしてしまいましたので治療をしてやりました。きりんのキリーちゃんが夜のうちに寝室の鉄柵に頭をつっこんでとれなくなりあばれて少しけがをしました。早速鉄柵をのこぎりで切ってはずしてやりました。

ジャイアントパンダの話

世界の珍獣ジャイアントパンダは北京動物園で飼育されています。たまたまこの状況を見てこられた京浜鳥獣KK社長河野氏より、投稿がありましたので、特に掲載します。

ジャイアントパンダは中国語で大熊貓と呼ばれ世界中でも珍獣中の最珍獣としてその価格も最も高く評価されています。

産地は中国の四川省の一部にだけ限られており、中国以外の国でこの動物を飼育している動物園はロンドン動物園で1頭、モスクワ動物園に1頭と云われており、最近のニュースによりますとロンドンとモスクワの間でジャイアントパンダの国際結婚の話が結ばれロンドンからモスクワへ動物が送られると云うことです。

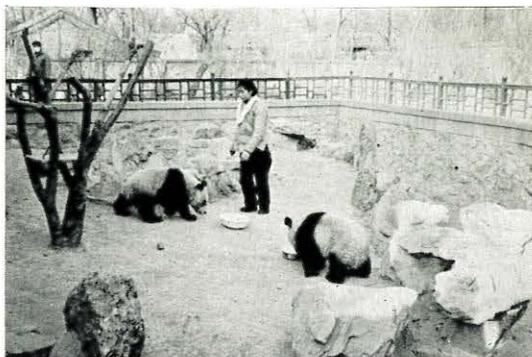
そして赤ちゃんが生まれたときにモスクワからオス、メスの子供をロンドンへお返しすると云う約束だと聞いております。

私は今年の一月から二月にかけて、約20日間ばかり中国へ動物と動物園事情の調査に行き参りましたが、その時中国各地の動物園で見たジャイアントパンダについて少し書いてみることにします。

北京動物園にジャイアントパンダが飼育されており、そこで子が生まれたこともニュースで知ってはありましたが、詳しい情報については行って見るまで判りませんでした。

北京動物園は1906年に清朝の宮廷専用の動物園として現在地に開園、1913年によろやく一般市民にも解放して見せることになったものですが、1948年の中共軍による解放時はわずかに猿山の猿10頭とオウム3羽が残されていたに過ぎなかったと云われております。

それが現在では面積も53ヘクタールに拡張され収容動物も350種2500点と云う世界でも第一級の動物園と思われるように充実されました。ここに現在7頭のジャイアントパンダがおります。二つがいの親は原産地の四川省から入ったものです



北京産れの2才と3才の幼獣と女性飼育係

が、子供が1963年9月に1頭1964年9月1頭と昨1965年9月に1頭と合計3頭生まれて元気に育っております。

現在までのところ世界の動物学界においてもジャイアントパンダについての詳しい資料は皆無の状況にあるため、北京動物園でこの珍獣についての成長年令、妊娠期間、寿命等を研究していると云うことでした。

私が見たジャイアントパンダの餌は笹、砂糖キビの茎、人参、リンゴ等が与えられておりました。成獣では白と黒の部分の色は鮮明ですが、3才と2才の幼獣の白の部分は灰色で黒の部分は黒褐色を呈しております。

中国では政府でこの珍獣を重要国家保護動物に指定しており、一般人の捕獲飼育や輸出を禁止して、厳重な保護対策がとられております。中国には現在40箇所以上の動物園が在りますが、ジャイアントパンダは北京だけではなく各地で飼育されております。私が見学した動物園の内だけでも南京に1頭、上海に4頭、広州(旧広東)に2頭いましたから私は今度の旅行中に全部で14頭見たこととなります。

広州動物園主任の李氏の話によれば四川省には現在50頭位のパンダが棲息しているとのことでした。私は動物商としてこの珍獣をいつの日か日本の皆さんにお目にかけたいと念願し今回の旅行中も中国の関係者の方をお願いしてきましたので、いずれ入手が実現することを信じておる次第です。

★ 日本ではじめて

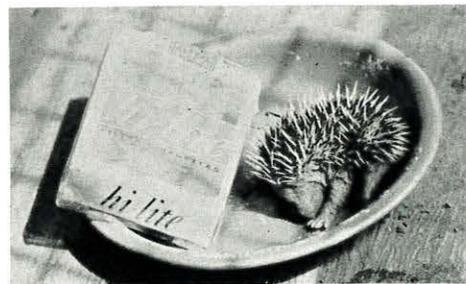
「はりねずみ」の赤ちゃん誕生

「私」は3月18日のあけがた、20年ぶりで天王寺動物園にやってきた「はりねずみの両親」の間に、3人の仲間と一緒に生まれました。

動物園で誕生するのは日本でももちろん世界でもその例がないなどといってさわいでおられるようですが、私達は少しありがた迷惑に思っているのですがね。なぜってやはり仲間が生活しているアフリカ、インド、マレー半島あたりで生まれたかったから。でも折角、皆様も喜んでいてくれることですし、両親はもちろん、飼育係のおじさんも本当に親切にしてくれますので元気にやっていきたいと思っています。

みかけは棘毛などでおおわれておりますが、これはあくまで外敵から身をまもるためだけのもので、まちがっても「自衛隊も海外派兵できる」というようなことはありません。みなさんに早くお目にかけたいのですが、何分寒さに弱いたちです。もっともっと暖かくなってからになると思います。

——はりねずみはもぐらの仲間で約20種類あります。こんど生まれたのは目方30gです。親の体長は25cm内外、背面と体側に棘毛があって、腹部には柔らかい毛があります。雑食で夜行性。当園ではミルク70℃C鶏卵の煮抜半個、ミンチ肉40gを与えています。(親1頭1日分)。寒さに弱く、冬期の飼育は特に困難で、ニューヨーク動物園での飼育雑誌によると最高飼育年数は3年11ヶ月と記録されています。



★ キリンの赤ちゃんがなくなりました

本誌特集号(10.11月)の本欄でもうれしいニュースとして、みなさんにお知らせしましたキリンの赤ちゃん(リリーちゃん)が3月24日朝早く死亡しました。

この赤ちゃんキリンは、キリン一家の二女として昨年10月5日朝早く生まれましたが、寒さに向う10月に生ま

れたせいか、5月生まれの「長女のキリーちゃん」と違って発育ぶりはあまり芳しくなく、総合ビタミン、栄養剤等を与えて飼育には細心の注意を払っていましたが、下あごにできた「できもの」がもとで食欲不振となり、もとの虚弱体質と重なって、担当係員の懸命の看病のいかにもなくついになりました。11月の50周年記念まつりには27655票の応募票のなかから「リリーちゃん」というペットネームまでつけてもらい大喜びだったキリン一家も3人家族となって心なしかさびしうでしたが、運動場の前の桜も満開になり、お客様がたくさんやってくるようになって、今はもうすっかり忘れてしまったように、長い首で愛キョウをふりまいています。

★ 春の動物園まつり

動物園では5月いっぱい、日曜祝日を中心にできるだけたくさんの人々に参加していただき、楽しんでもらえるような催し物を計画しています。

たとえば5月5日の子供の日には象の目方を計る会、8日の母の日にはママとよい子のコーラス大会、50周年記念まつりでも大好評だった関西の漫画家のみなさんのサービスによる似顔絵大会、5月10日からの愛鳥週間にちなむ鳥の展示会などその他春のおどりと歌謡ショー、3月にアフリカからやってきたチンパンジーのペットネーム募集、日曜、祝日の小人入園者におみやげ進呈等々……。ご期待下さい。

★ 天王寺動物園の誕生から現在までの移り変わりをつづった「50年のあゆみ」(A5判144頁布上製本銀箔押紙函付)完成。

本書は和田園長が開園50周年を記念して、動物に関するエピソードを中心に、戦前の人気者チンパンジーのリタとロイドのかわいい学徒動員スタイルの写真など貴重な記録写真80枚を入れ目で楽しみながら、はげしく動く社会状況のなかでつづった当園の小さな歴史がよくわかるように編集されております。

ご希望の方に限り実費600円でおわけいたしておりますので下記のところまでお申し出下さい。おまちいたしております。

大阪市天王寺区玉水町2

大阪市天王寺動物園協力会 電771-8401~2

